三郷市立彦成小学校の実践／低学年：器械・器具を使った運動遊び／授業者・研究主任：小番　隼人

指導と評価の計画（８時間扱い）　本時は〇印　６／８時

時間	1	2	3	4	5	⑥	7	8
ねらい	学習の進め方を知り，安全に気を付けて運動しよう。	パーまたぎのりのじゅつを覚え，丸太渡りの場で遊ぼう。	グーとびのりのじゅつを覚え，２つの場で遊ぼう。	彦忍アスレチックで遊ぼう。	友達のよい動きを見付けたり，伝えたりしよう。	カッコいい忍者になるために，遊び方を工夫しよう。	パワーアップした彦忍アスレチックで遊ぼう。	みんなで仲よく彦忍忍術試験を楽しもう。
指導内容	・学習の進め方 ・安全指導 ・準備，片付けの仕方 ・変化の術タイムの行い方 ・行くぞ！彦成忍者学校！の行い方	・パーまたぎのりの行い方 ・丸太渡りの場の遊び方 ・岩跳び越しの場の遊び方	・グーとびのりの行い方 ・屋根渡りの場の遊び方 ・壁登りの場の遊び方	・４つの場での遊び方の再確認 ・ローテーションの行い方	・修行道具の使い方 ・動きをみる視点と言葉かけの確認	・もっと楽しめる場（ルール）や遊び方（修行道具）の選択	・パワーアップした４つの場での遊び方の再確認	・彦忍忍術試験の仕方 ・単元の振り返りの仕方
学習過程	１　集合・健康観察・挨拶をする。 ３　彦忍アスレチック作り（場の設定）をする。 ４　行くぞ！彦成忍者学校！（チョキふみこし）をする。 ※「２～４」は，第２時以降から行う。 ２　変化の術タイム（跳び箱遊びに繋がる準備・補強運動）をする。 ①クラゲ（手首・足首・首・肩回し）　②馬（馬跳び）　※折り返しリレー形式で行う。 ③動物（くま，アザラシ，ラッコ，うさぎ，シャクトリムシ等）　行きが「②」帰りが「③」。							
	〈オリエンテーション〉 ２　単元の学習内容と本時のねらいを確認する。 ３　学習の進め方を確認する。 ・１時間の流れ ・用具の確認 ・チーム，班編成 ４　変化の術タイムをする。 ・安全確認の仕方 ・運動の行い方 ５　行くぞ！彦成忍者学校！をする。 ・安全確認の仕方 ・運動の行い方 ６　後片付けをする。 ７　準備・後片付けをする。 ８　本時の振り返りとまとめをする。 ９　整理運動をする。 10　挨拶をする。	５　本時のねらいを確認する。 ６　忍術学びタイムをする。 ・１時間で一つの忍術（動き）を扱う。 ・一斉に共通の忍術に触れることで，運動の行い方を知る。 ・「どんな〇〇の術ができますか？」の発問から，児童の様々な動きを引き出す。 ・上手に動けている児童や工夫して活動している班を抽出し，動作の特徴をクラス全体に広める。 第２時 ①パーまたぎのりの行い方 ②丸太渡りの場の遊び方 ③岩跳び越しの場の遊び方	第３時 ①グーとびのりの行い方 ②屋根渡りの場の遊び方 ③壁登りの場の遊び方	６　忍術使いタイムをする。 ・３つの場をローテーションで運動をする。（岩跳び越しの場は他の場とセットな為，数に入れない） ・前時までで児童から出てきた遊び方をもとに，教師からいくつか遊び方を提案する。（第４時：ルール　第５時：修行道具） ・修行道具については，短時間で準備できる教具を取り入れることで，簡単に遊びのバリエーションを増やせるようにする。 第４時ルール（例） ①競争 ●またぎ回数 ●着地距離 ②偶然 ●着地じゃんけん ③模倣 ●〇〇のように ●リズム，口伴奏 ④眩暈（連続） ●空中局面―着地	第５時修行道具（例） ①お手玉 ●避ける ②ケンステップ ●中に着地 ③スポンジ ●避ける ●上に着地 ④スポンジバー ●避ける ●タッチする	６　忍術楽しみタイムをする。 ・忍術楽しみタイムでは，以下の学習サイクルを確立することで，動きの質の向上を図る。 ①班内で，工夫しにいきたい場に分かれる。 （「班」→「つくるグループ」に分かれる） ②それぞれで，もっと楽しめる場や遊び方の工夫をする。（つくるグループ） ③もとの班でローテーション運動をする。 ④つくるグループで集まり，振り返りをする。 ⑤別チームと交流して，別チームの作った場で運動をする。 ・「誰でも楽しめる」を合言葉として，場や遊び方を選択するように声をかけていく。（レベルを設定する等） ・ねらいとする動き（カッコいい忍者）に近づくための場や遊び方の工夫であることを伝える。	６　彦忍忍術試験を行う。 ・つくるグループで，自分たちの工夫した場に作り変える。 ・グループをＡとＢの２つに分けて，両チームの彦忍アスレチックで遊ぶ。 ７　後片付けをする。 ８　単元の振り返りとまとめをする。 ・自分について ・班について ９　整理運動をする。 10　挨拶をする
		７　後片付けをする。　８　本時の振り返りとまとめをする。　９　整理運動をする。　10　挨拶をする。						
評価計画 知・技		①	①	②			②	
思・判・表					②	①		
態	③④							①②
方法	観察・学習カード	観察・学習カード	観察・学習カード	観察	観察・学習カード	観察・学習カード	観察	観察・学習カード
場面	3,4,5,6,7	6	6	6	6	6	6	6